

2026年 5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年 7月15日

上場会社名 東京高圧山崎株式会社 上場取引所 東
コード番号 7139 URL https://www.tokyo-koatsu.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 貴朗
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 江口 康久 (TEL) 03 (3409) 7541
定時株主総会開催予定日 2026年 8月28日 配当支払開始予定日 2026年 8月31日
発行者情報提出予定日 2026年 8月31日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期の連結業績(2025年6月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	13,448	9.6	492	58.5	493	60.5	308	46.5
2025年5月期	12,269	2.4	310	△23.2	307	△24.1	210	△20.1
(注) 包括利益	2026年5月期 550百万円 (158.5%)		2025年5月期 212百万円 (△44.8%)					

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益		自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
2026年5月期	750.69		—		8.9	4.6	3.7
2025年5月期	510.92		—		6.8	3.0	2.5

(参考) 持分法投資損益 2026年5月期 △1百万円 2025年5月期 2百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
2026年5月期	10,982		3,844		33.7	9,038.51	
2025年5月期	10,351		3,326		30.9	7,780.36	

(参考) 自己資本 2026年5月期 3,702百万円 2025年5月期 3,198百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高
	百万円		百万円		百万円		百万円
2026年5月期	965		△112		△440		1,487
2025年5月期	371		△165		△103		1,073

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	%	%
2025年5月期	—	—	—	60.00	60.00	24	11.7	0.8
2026年5月期	—	—	—	100.00	100.00	40	13.3	1.2
2027年5月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2027年5月期(予想)については配当を予定しておりますが、具体的な配当金については現時点では未定であります。

3. 2027年5月期の連結業績予想(2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	12,845	△4.5	361	△26.6	349	△29.1	216	△29.9	527.38

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
除外 1社(社名)日興商事株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期	439,386株	2025年5月期	439,386株
② 期末自己株式数	2026年5月期	29,733株	2025年5月期	28,233株
③ 期中平均株式数	2026年5月期	410,479株	2025年5月期	411,802株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられたほか、企業の設備投資も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、原材料・エネルギー価格の高止まりや物流費・人件費の上昇に加え、中東情勢など先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは産業ガス・溶材機材事業の収益力強化、高付加価値製品の販売に努め、価格の是正及び配送の合理化と生産効率の向上、安定供給体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は13,448,753千円（前年同期比9.6%増）、営業利益は492,925千円（前年同期比58.5%増）、経常利益は493,495千円（前年同期比60.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は308,143千円（前年同期比46.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(産業ガス・溶材機材事業)

産業ガスは、主要顧客である鉄鋼・建設分野の需要停滞や、原材料・物流コストの上昇等、国内需要は全体として低調に推移いたしました。このような状況のなか、ユーザー及び販売店への安定供給体制を維持するとともに、価格是正の推進、新規・スポット案件の受注に注力した結果、売上・利益ともに増加いたしました。

溶材機材は、主要顧客である鉄鋼・重工業界では、人手不足や資材高騰による工期遅延の影響が続いておりましたが、溶接材料・機械設備は底堅く推移いたしました。海外向けについても、横ばいを維持したことで、売上・利益ともに増加いたしました。

この結果、当連結会計年度における産業ガス・溶材機材事業の売上高は9,131,411千円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は287,205千円（前年同期比5.4%増）となりました。

(ファイン製品事業)

化学品及び化成品は、酸化鉄や炭酸カリウムの新規受注、酸化ホウ素の市場拡大などに加え、アクリルエマルジョンや食品添加物のグリシン等の販売が堅調に推移いたしました。また、ウレタン断熱パネル工事は、再生医療施設やクリーンルーム用パネル及び食品向け冷蔵設備の受注により売上・利益ともに増加いたしました。

建設用塗料及び塗材は、改修並びに高意匠性内装塗装が堅調に推移したことに加え、工場の生産効率の向上と不良在庫の削減により売上・利益ともに増加いたしました。

特機製品は、次世代半導体開発用大型成膜装置の売上が寄与したことと、旺盛な半導体市況により主力のマスフローコントローラの販売が堅調に推移したことにより、売上・利益ともに増加いたしました。

この結果、当連結会計年度におけるファイン製品事業の売上高は4,286,027千円（前年同期比31.2%増）、セグメント利益は193,114千円（前年同期比580.1%増）となりました。

(その他)

その他は、不動産事業を営んでおり、当連結会計年度におけるその他の売上高は31,314千円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は12,605千円（前年同期比26.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は6,270,449千円で、前連結会計年度末に比べ374,359千円増加しております。現金及び預金の増加413,658千円、電子記録債権の増加320,109千円、商品及び製品の増加157,428千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少443,964千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は4,712,042千円で、前連結会計年度末に比べ256,134千円増加しております。投資有価証券の増加352,881千円、建物及び構築物の減少32,850千円、のれんの減少29,388千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は5,490,177千円で、前連結会計年度末に比べ438,927千円増加しております。電子記録債務の増加549,456千円、短期借入金の増加50,000千円、未払法人税等の増加44,525千円、支払手形及び買掛金の減少291,140千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,648,193千円で、前連結会計年度末に比べ326,260千円減少しております。長期借入金の減少408,733千円、繰延税金負債の増加98,645千円が主な変動要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は3,844,120千円で、前連結会計年度末に比べ517,826千円増加しております。親会社株主に帰属する当期純利益の計上308,143千円等による利益剰余金の増加283,474千円、その他有価証券評価差額金の増加227,308千円が主な変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて413,285千円増加し、1,487,172千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は965,602千円（前連結会計年度371,865千円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益486,776千円、「売上債権の増減額」123,855千円、「仕入債務の増減額」261,566千円により資金が増加し、「棚卸資産の増減額」125,785千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は112,250千円（前連結会計年度165,199千円の支出）となりました。この主な要因は、「差入保証金の回収による収入」34,635千円により資金が増加し、「有形固定資産の取得による支出」117,729千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は440,066千円（前連結会計年度103,080千円の支出）となりました。この主な要因は、「短期借入金の純増減額」50,000千円、「長期借入れによる収入」160,000千円により資金が増加し、「長期借入金の返済による支出」596,860千円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き国内景気は緩やかな回復基調で推移している一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりや物流費・人件費の上昇に加え、為替の更なる円安への動きや中東情勢など先行き不透明な状況が継続するものと思われれます。

このような事業環境のもと、次期連結業績見通しにつきましては、売上高12,845百万円、営業利益361百万円、経常利益349百万円、親会社株主に帰属する当期純利益216百万円を見込んでおります。

なお、今後、業績等に重大な影響を及ぼす事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,109,765	1,523,424
受取手形、売掛金及び契約資産	2,267,380	1,823,415
電子記録債権	1,523,110	1,843,220
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	614,377	771,806
仕掛品	48,748	15,780
原材料	188,282	189,608
その他	97,668	54,562
貸倒引当金	△3,243	△1,367
流動資産合計	5,896,090	6,270,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	501,716	468,865
機械装置及び運搬具（純額）	209,826	201,274
土地	2,048,448	2,048,448
リース資産（純額）	46,529	40,196
建設仮勘定	2,350	—
その他（純額）	158,382	193,396
有形固定資産合計	2,967,252	2,952,181
無形固定資産		
のれん	86,009	56,621
その他	117,516	117,679
無形固定資産合計	203,525	174,301
投資その他の資産		
投資有価証券	969,824	1,322,706
長期貸付金	66,120	59,546
繰延税金資産	30,063	—
その他	219,137	203,320
貸倒引当金	△16	△14
投資その他の資産合計	1,285,129	1,585,559
固定資産合計	4,455,908	4,712,042
資産合計	10,351,998	10,982,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,486,730	1,195,590
電子記録債務	2,096,262	2,645,719
短期借入金	450,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	592,860	564,733
リース債務	19,864	18,675
未払法人税等	55,436	99,962
賞与引当金	78,614	84,439
その他	271,480	381,058
流動負債合計	5,051,249	5,490,177
固定負債		
長期借入金	1,478,251	1,069,518
リース債務	43,750	34,299
繰延税金負債	79,435	178,081
役員退職慰労引当金	102,477	97,540
退職給付に係る負債	193,900	191,701
資産除去債務	24,871	25,111
その他	51,767	51,941
固定負債合計	1,974,454	1,648,193
負債合計	7,025,704	7,138,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	779,294	779,294
資本剰余金	502,721	502,721
利益剰余金	1,808,140	2,091,614
自己株式	△124,479	△131,529
株主資本合計	2,965,676	3,242,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,244	460,552
その他の包括利益累計額合計	233,244	460,552
非支配株主持分	127,372	141,467
純資産合計	3,326,293	3,844,120
負債純資産合計	10,351,998	10,982,491

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	12,269,386	13,448,753
売上原価	9,348,862	10,277,758
売上総利益	2,920,524	3,170,994
販売費及び一般管理費	2,609,566	2,678,069
営業利益	310,958	492,925
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	18,809	22,517
持分法による投資利益	2,654	—
家賃収入	3,800	3,724
受取補償金	3,694	7,861
為替差益	—	11,395
その他	16,383	8,025
営業外収益合計	45,342	53,524
営業外費用		
支払利息	38,232	43,972
持分法による投資損失	—	1,116
為替差損	6,072	—
その他	4,436	7,864
営業外費用合計	48,741	52,954
経常利益	307,558	493,495
特別利益		
固定資産売却益	11	19
投資有価証券売却益	34,822	—
特別利益合計	34,833	19
特別損失		
固定資産除却損	3,801	6,738
減損損失	9,338	—
特別損失合計	13,140	6,738
税金等調整前当期純利益	329,252	486,776
法人税、住民税及び事業税	112,464	141,560
法人税等調整額	△1,409	23,086
法人税等合計	111,055	164,647
当期純利益	218,196	322,129
非支配株主に帰属する当期純利益	7,797	13,985
親会社株主に帰属する当期純利益	210,399	308,143

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
当期純利益	218,196	322,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,450	227,893
その他の包括利益合計	△5,450	227,893
包括利益	212,746	550,022
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	204,273	535,451
非支配株主に係る包括利益	8,472	14,570

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	779,294	502,721	1,622,493	△118,002	2,786,505
当期変動額					
剰余金の配当			△24,751		△24,751
親会社株主に帰属する 当期純利益			210,399		210,399
自己株式の取得				△6,476	△6,476
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	185,647	△6,476	179,170
当期末残高	779,294	502,721	1,808,140	△124,479	2,965,676

	その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	239,370	239,370	119,233	3,145,109
当期変動額				
剰余金の配当				△24,751
親会社株主に帰属する 当期純利益				210,399
自己株式の取得				△6,476
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,125	△6,125	8,138	2,013
当期変動額合計	△6,125	△6,125	8,138	181,184
当期末残高	233,244	233,244	127,372	3,326,293

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	779,294	502,721	1,808,140	△124,479	2,965,676
当期変動額					
剰余金の配当			△24,669		△24,669
親会社株主に帰属する 当期純利益			308,143		308,143
自己株式の取得				△7,050	△7,050
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	－	283,474	△7,050	276,424
当期末残高	779,294	502,721	2,091,614	△131,529	3,242,100

	その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	233,244	233,244	127,372	3,326,293
当期変動額				
剰余金の配当				△24,669
親会社株主に帰属する 当期純利益				308,143
自己株式の取得				△7,050
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	227,308	227,308	14,094	241,402
当期変動額合計	227,308	227,308	14,094	517,826
当期末残高	460,552	460,552	141,467	3,844,120

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	329,252	486,776
減価償却費	170,023	169,674
減損損失	9,338	—
のれん償却額	26,888	29,388
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,362	△1,878
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,644	5,824
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△4,937
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,898	△2,199
受取利息及び受取配当金	△18,809	△22,517
受取保険金	△1,392	△507
受取補償金	△3,694	△7,861
支払利息	38,232	43,972
為替差損益 (△は益)	6,072	△11,395
持分法による投資損益 (△は益)	△2,654	1,116
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34,822	—
固定資産売却損益 (△は益)	△11	△19
固定資産除却損	3,801	6,738
売上債権の増減額 (△は増加)	43,181	123,855
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△202,596	△125,785
仕入債務の増減額 (△は減少)	182,217	261,566
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△46,724	46,724
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,727	40,917
その他	31,007	39,128
小計	507,690	1,078,581
利息及び配当金の受取額	17,328	22,261
利息の支払額	△37,727	△45,372
法人税等の支払額	△132,513	△99,237
保険金の受取額	1,392	507
補償金の受取額	3,694	7,861
和解金の受取額	12,000	1,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,865	965,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△330	△360
有価証券の取得による支出	△50,000	△50,000
有価証券の償還による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△164,153	△117,729
有形固定資産の売却による収入	62	66
投資有価証券の取得による支出	△19,337	△20,498
投資有価証券の売却による収入	49,855	—
貸付けによる支出	△75,150	△1,880
貸付金の回収による収入	84,410	8,843
のれんの取得による支出	△30,000	—
差入保証金の回収による収入	—	34,635
その他	△10,556	△15,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,199	△112,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△70,000	50,000
長期借入れによる収入	1,140,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△1,117,224	△596,860
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△24,293	△21,010
自己株式の取得による支出	△6,476	△7,050
配当金の支払額	△24,751	△24,669
非支配株主への配当金の支払額	△334	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,080	△440,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	103,585	413,285
現金及び現金同等物の期首残高	970,300	1,073,886
現金及び現金同等物の期末残高	1,073,886	1,487,172

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

日興商事株式会社は2025年12月1日付で当社に吸収合併されたことにより、当連結会計年度から連結の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた20,077千円は、「受取補償金」3,694千円、「その他」16,383千円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取補償金」及び「補償金の受取額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より表示することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取補償金」△3,694千円、「補償金の受取額」3,694千円を表示するとともに、「小計」511,385千円を507,690千円に変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱商品に基づき、「産業ガス・溶材機材事業」、「ファイン製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「産業ガス・溶材機材事業」は、主に、酸素ガス、窒素ガス、アルゴンガス、アセチレンガス等の産業ガスの製造販売及びガス関連装置の仕入販売のほか、溶接材料、溶接溶断機器、器具機材及び産業機械全般の仕入販売を行っております。

「ファイン製品事業」は、主に、各種工業用薬品、合成樹脂製品、高純度化学品、食品添加物、フロン代替用スーパーガス（HFO）、アルミ製品等の販売、並びにその用途開発によるウレタン断熱パネルの製造販売及び断熱工事のほか、建設用塗料及び塗材等の製造販売、ガス循環精製装置等の半導体関連機器の製造販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の売上高又は振替高は、原価ベースに基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	産業ガス・ 溶材機材 事業	ファイン 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,972,289	3,267,964	12,240,253	29,132	12,269,386	—	12,269,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	233,455	5,881	239,337	—	239,337	△239,337	—
計	9,205,744	3,273,846	12,479,590	29,132	12,508,723	△239,337	12,269,386
セグメント利益	272,597	28,394	300,991	9,966	310,958	—	310,958
その他の項目							
減価償却費(注) 3	145,949	24,196	170,146	67	170,213	—	170,213
のれんの償却額	22,010	4,878	26,888	—	26,888	—	26,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却費が含まれております。

4. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはしていません。

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	産業ガス・ 溶材機材 事業	ファイン 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,131,411	4,286,027	13,417,438	31,314	13,448,753	—	13,448,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134,849	—	134,849	—	134,849	△134,849	—
計	9,266,261	4,286,027	13,552,288	31,314	13,583,603	△134,849	13,448,753
セグメント利益	287,205	193,114	480,319	12,605	492,925	—	492,925
その他の項目							
減価償却費(注) 3	147,052	22,766	169,818	45	169,864	—	169,864
のれんの償却額	24,510	4,878	29,388	—	29,388	—	29,388

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却費が含まれております。

4. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはしていません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	産業ガス・ 溶材機材事業	ファイン 製品事業	計			
減損損失	—	9,338	9,338	—	—	9,338

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	産業ガス・ 溶材機材事業	ファイン 製品事業	計			
当期末残高	74,627	11,382	86,009	—	—	86,009

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	産業ガス・ 溶材機材事業	ファイン 製品事業	計			
当期末残高	50,117	6,504	56,621	—	—	56,621

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	7,780.36円	9,038.51円
1株当たり当期純利益	510.92円	750.69円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	210,399	308,143
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	210,399	308,143
普通株式の期中平均株式数(株)	411,802	410,479

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年5月31日)	当連結会計年度末 (2026年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,326,293	3,844,120
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	127,372	141,467
(うち非支配株主持分(千円))	(127,372)	(141,467)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,198,920	3,702,653
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	411,153	409,653

(重要な後発事象)

該当事項はありません。